

経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 川辺町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.50	96.51	81.70	3,190

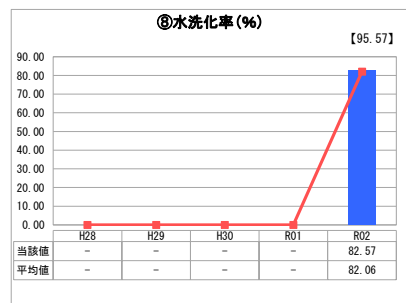
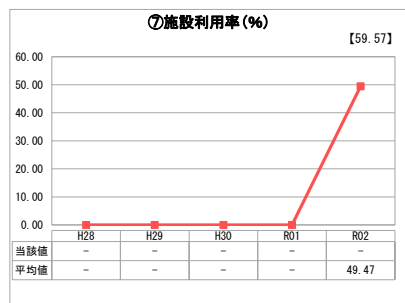
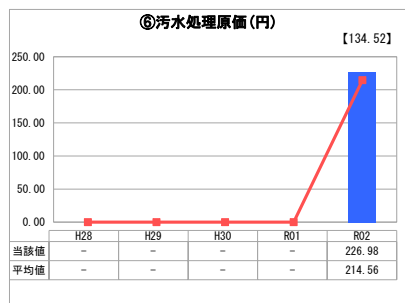
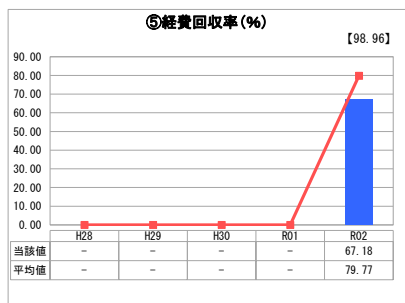
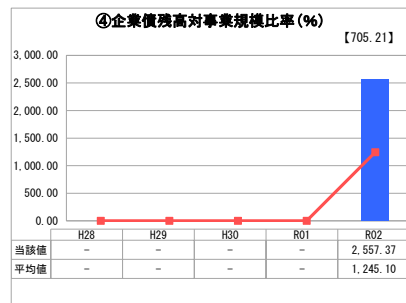
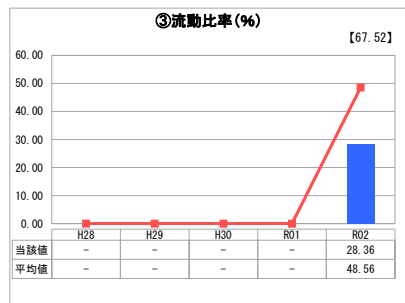
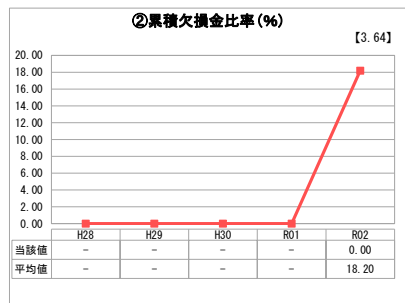
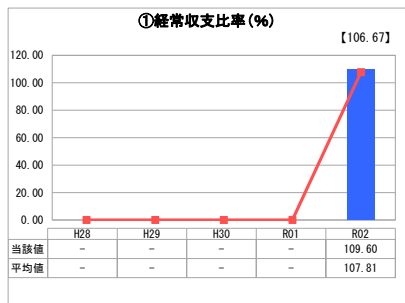
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,110	41.16	245.63
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
9,720	6.09	1,596.06

グラフ凡例

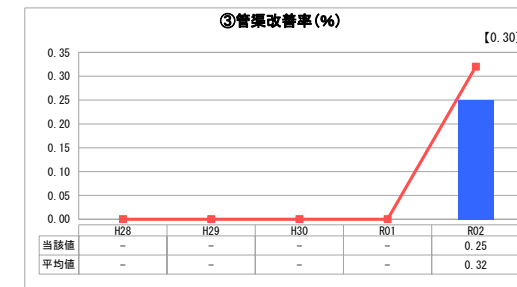
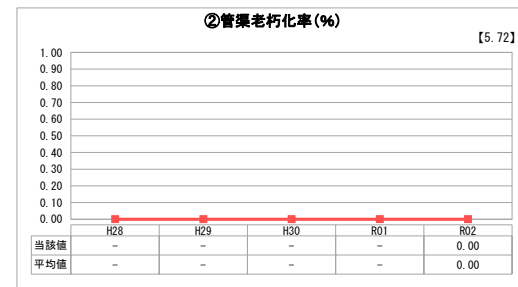
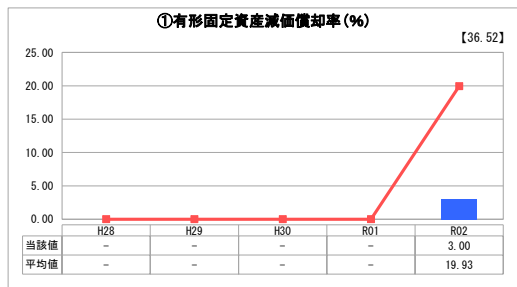
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

③類似団体と比較すると、大きく下回っている。
令和2年度から企業会計に移行したことにより特例的未払金が発生したこと、企業債元金の償却のピークが来ていることにより流動負債が増加した。なお今後企業債の償還が進むにつれて数値が改善されていく見込である。

④類似団体と比較すると、大きく上回っている。
企業債元金の償却のピークが来ていることにより、平均値と比べ悪い数値となっているが、今後企業債の償還が進むにつれて数値が改善されていく見込である。

⑤類似団体と比較すると、下回っている。
現時点でも使用料収入で汚水処理費全てを賅っていないが、今後施設の老朽化により維持管理費用が増加し、数値が悪化することが避けられない。

2. 老朽化の状況について

①類似団体平均を大きく下回っている。
現在川辺町に存在する下水道施設のほとんどが、耐用年数を迎えていないため、平均と比べ低い数値となっている。

③類似団体平均を下回っている。
管渠については、平成9年度の供用開始から最も古い管渠で29年を経過しているが、耐用年数は50年であり直ちに更新の必要に迫られることはないが、今後修繕費及び更新費用が増加する見込であるため、ストックマネジメント等の各種計画に基づき、適切な施設更新を進める。

全体総括
公共下水道の経営は、現在企業債の償還のピークを迎えていることにより、一部数値が悪いものとなっているが、概ね良好な数値を表している。しかし今後老朽化等により、経営が悪化する恐れがあるため、「健全・効率的」な経営改善のために、定期的に業務内容等を見直していく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。